



為石小学校の合言葉 「ためし 最高! ~地元で学び 地元を活かし 地元とともに行動する子ども~」



学校だより



ためし

○楽しく めあてをもって しっかり学ぶ
○正しく めあてを しっかり守る
○たくましく めあてに向かって しっかり鍛える



令和7年12月8日号 文責 上久木田 雄二



盛りだくさんのフルコース

私が若い時は「生徒指導の手引き」と呼ばれていましたが、12年ぶりに文部科学省が改訂し「生徒指導提要」となったことがニュースにもなったのは、もう3年も前です。

文部科学省が作成しているということは、学校教育の中で、生徒指導として指導する根拠となると考えていいと思います。

驚くべきは、その内容の広さと深さです。

少年非行・飲酒・喫煙・薬物乱用・暴力行為・いじめ・自殺・児童虐待・家出・不登校・中途退学・性同一性障害・発達障害・校則の見直し

この複雑さと困難さは、自分で書いていても、ため息が出ます。

本当にこれらのことをまんべんなく学校が指導し支えることが可能なのかも感じます。

学校に起因する「いじめ」や「不登校」、学校が主体である「校則」については、学校教育の範疇であると私も思います。

中途退学は、小学校では稀有な事例であると考えます。

また、性同一性障害や発達障害は、個の個性や特性であり、未成年・未発達の子どもの力だけではどうしようもないことのように思います。現在では、福祉や医療分野との連携により、子どもたちの困り感を少しでも減らす工夫をしています。

それ以外は、大人であれば処罰の対象の事案もあります。

非行・薬物乱用・暴力行為

について学校教育の中で指導することは、「しないように」という呼びかけ程度です。学校教育の指導だけで防ぐことは不可能だと感じます。

飲酒・喫煙・虐待・家出

は、もはや家庭教育の範疇であると思っています。

実は法的には、「いじめ」についても家庭教育の責任が第一義的だと示されています。

HPはこちら



二次元コード読み取り 「カラー版は、ホームページでご覧いただけます。」

